

寺子屋方丈舎は、学校外の子どもの学びの場所として1999年に設立したフリースクールです。現在、7歳から21歳までの若者を受け入れています。

- 3月7日(土) 13:00～ 会場 / 大町紀州屋
未来の教育を考える「これからの学校の役割」
「Most Likely to Succeed」上映会
参加費：500円
- 3月14日(土) 14:00～ 会場 / 会津稽古堂(和室)
「子ども第一主義」～学びをつくるのは子どもと一緒に～
ゲスト：こおりやま子ども若者ネット代表 鈴木綾さん
参加費：500円
- 3月21日(土) 14:00～ 会場 / 会津若松商工会議所
「未来の教育」を語ろう！
ゲスト：箕面こどもの森学園 校長 藤田美保さん
参加費：1000円を
- 3月27日(金) 13:00～ 会場 / 大町紀州屋
相談会 @ 大町紀州屋

＊ ＊ 事前申し込みが必要です ＊ ＊

お申込み&お問い合わせは下記までご連絡ください。
TEL / 0242-93-7950 (担当：大関)
mail / houjou28@gmail.com
※お電話での受付は火～土(10:00～18:00)になります。
ホームページ、facebookでも情報発信しています。

共に創る
学びについて
お話しします。

寺子屋方丈舎フリースクール・通信制
説明会 & 相談会



なる。お世話をしたくなる。小さな修正を入れたくなる。失敗は絶対させたくない。子育ての本当の失敗は、子どもが「自分で考えなくなる」ことだと、私たちは思います。正しい答えを、指導者に求めようとします。自分で修正しないで、人のせいにする。最後は、人の悪口だけ言うようになる。

自分を省みない人が、「予想できない事態」に、不安で立ち向かうことができなくなっても、それは当たり前です。「対話」は、カウンセリングでもなく、自問自答する哲学的な世界です。自分を問う力を身につけた子どもは、自分で気づいて学ぶ力を身につけていきます。

文科省でも、学び手が主体となる、学びをつくらうとしています。「アクティブ・ラーニング」は「主体的、対話的で深い学習」で、本人主体の学びを進めようとしています。それは、一方的に講義をしても内容が本人に定着しないからです。(参照…図1)グループで討議や体験学習をする方がはるかに学びとしても定着していきます。従来の公教育を受けていた大人は、一方的な講義形式こそが「学び」と思い込んでいます。問われるのは、子どもよりも、むしろ大人の対応です。

寺子屋方丈舎では、子どもたち同士の対話を通し、こどもの認知を深めることを大事にしています。対話をする能力は、子どもよりも大人の方がはるかに低いです。つい指導したく

「対話」をつなぐチカラ



「指導」から「応援」する学びへ

寺子屋方丈舎では、子どもと対話を通じてつくる学びの実践を行なっています。なぜなら、自分で気づいたことからしか人間は学べないからです。短期的に暗記してもすぐに忘れてしまいます。

特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎 大関 勇気

子どもを受け止める親のために (5)